

2018年7月23日

RICOH THETA プラグインストアをオープン ～パートナーが開発したプラグイン5種を含む計8種を公開～

株式会社リコー(社長執行役員:山下良則)は、ワンショットで360°の全天球イメージを撮影できるカメラ RICOH THETA V 用のさまざまなプラグインをダウンロード可能な、「[RICOH THETA プラグインストア](https://pluginstore.theta360.com/)」(<https://pluginstore.theta360.com/>)をオープンしました。

同ストアは、第三者のプラグイン開発を支援する「RICOH THETA プラグイン パートナープログラム」の一環として展開するものです。

RICOH THETA V は、4K 解像度相当の動画および5.4K 静止画の360°高画質撮影や空間音声記録を実現したシリーズ最上位機種です。Android™ ベースのオペレーションシステム採用により、オープンアーキテクチャーによる第三者のプラグイン開発を容易にしています。

リコーでは6月28日に「RICOH THETA プラグイン パートナープログラム」を開始し、プラグイン開発のためのプラットフォームを提供するだけでなく、オンラインサポートも行うことで、第三者に対する開発支援を行ってきました。

プログラム開始から本日のストアオープンまでに、多数の開発者の方々に開発プラットフォームをご利用いただき、今回、日・米・欧の企業が開発した5種のプラグインを公開しました。また、リコーが開発したプラグイン3種も同時に公開しました。

このプログラムを通じて、開発者の方々がより柔軟な発想でプラグインを開発しストアに公開していくことで、RICOH THETA V ユーザーが必要なプラグインをダウンロードし、通常はなかった機能を好みに応じて追加することが可能となります。

リコーでは、今後もお客様のより広範なニーズに柔軟に対応し、ビジネス、コンシューマーの両分野で機器をお使いいただけることを目指します。

<パートナーが開発したプラグイン5種のご紹介>

1. デバイス WebAPI プラグイン

開発元:株式会社NTTドコモ(開発フレームワーク提供)(www.nttdocomo.co.jp)

株式会社GClue(アプリ開発、提供)(www.gclue.com)

NTTドコモでは、WebAPIでRICOH THETA Vの内蔵センサー情報取得や機能制御を実現する「デバイス WebAPI プラグイン」の技術協力を行っています(プラグインはGClue社から提供されます)。デバイス WebAPI プラグインはデバイス上にWebAPIを構築するOMA GotAPI仕様に準拠しており、スマートフォンなどの他のデバイスでも共通のWebAPIで機能アクセスが可能となっています。

2. MESH plugin for RICOH THETA

開発元:ソニー株式会社(meshprj.com)

MESHは、無線でつながるセンサーなどのブロックをつなげて、IoTの仕組みを手軽につくることができる製品です。「MESH plugin for RICOH THETA」では、RICOH THETA Vの撮影コントロールを、スマートフォンのMESHアプリを使わずにMESHブロックとRICOH THETA Vのみで直接行えるプラグインです。リモートシャッターやセンサーを使った自動撮影にぜひチャレンジしてみてください。

株式会社リコー <http://jp.ricoh.com/>

報道関係のお問い合わせ先 株式会社リコー 広報室 TEL:050-3814-2806(直通) E-mail: koho@ricoh.co.jp

お客様のお問い合わせ先 お客様相談センター TEL:0570-001313

3. EVERYPLACE Sync

開発元: EVERYPLACE (www.evryplace.com)

RICOH THETA V と EVERYPLACE アプリで作成した画像をシームレスにアップロード可能なため、プロジェクトの同期、アップロード、アップデートがスマートフォンから行えます。また、EVERYPLACE エディターでプロジェクトを簡単にアップデートできるようになります。RICOH THETA V で必要な 360° 画像を選択し、EVERYPLACE アプリを開けば、カメラからプロジェクトにダイレクトに画像を送ることができます。不動産資料、360° 配信文書、保険関連書類、教育資料など、あらゆる文書のアップデートに利用できます。

4. HoloBuilder 360 SiteStream

開発元: HoloBuilder, Inc. (www.holobuilder.com)

このプラグインは、建設現場の 24 時間 365 日、見たいタイミングで 360° ライブ映像の配信を開始できます(連続配信が可能な時間は使用環境により異なります)。建設現場の重要な拠点に RICOH THETA V をセットしておけば、どこからでもリモート操作でプロジェクトにズームインして、現場で何が起きているのかをリアルタイムで見ることができます。カメラを増やせば 360° のライブ映像配信を好きなだけ追加できるので、現場のあらゆるライブ映像配信が可能です。ライブ映像には、HoloBuilder.com の使いやすいダッシュボードからアクセスできます。

5. Fita

開発元: Everywoah (fita.io)

Fita は、RICOH THETA V を Google Cloud Storage™ に接続するためのプラグイン・スイートです。RICOH THETA V カメラ用のオンボードプラグインとスマートフォン用の Android または iOS アプリである Fita は、RICOH THETA V から接続先の Google Cloud Storage アカウントに画像をアップロードすることで、無線 LAN 接続で 360° 画像および映像ワークフローを最適化し、チーム内でのコラボレーションを可能にします。

<リコーが開発したプラグイン 3 種のご紹介>

1. 無線ライブストリーミング「Wireless Live Streaming」
無線を介して直接 YouTube™ に 360° ライブ配信ができます。
2. 自動顔ぼかし撮影「Automatic Face Blur BETA」
撮影すると被写体の顔を自動で検知し、ぼかすことができます。
3. クラウドアップロード「File Cloud Upload」
RICOH THETA V 内にある画像を、ルーター経由で Google フォト™ に自動でアップロードできます。

そのほかリコーが提供を予定しているプラグインのロードマップは [こちら](http://theta360.com/ja/about/theta/v/roadmap.html) (<http://theta360.com/ja/about/theta/v/roadmap.html>) からご覧いただけます。

※Android、YouTube、Google Cloud Storage、Google フォトは Google Inc. の登録商標です。

※その他の会社名および製品名は、それぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

| リコーグループについて |

リコーグループは、オフィス向け画像機器を中心とした製品とサービス・ソリューション、プロダクションプリンティング、産業用製品、デジタルカメラなどを世界約200の国と地域で提供しています(2018年3月期リコーグループ連結売上は2兆633億円)。

創業以来80年以上にわたり、高い技術力、際立った顧客サービスの提供と、持続可能な社会の実現にむけて積極的な取り組みを行っています。

EMPOWERING DIGITAL WORKPLACES - 人々の“はたらく”をよりスマートに。リコーグループは、さまざまなワークプレイスの変革をテクノロジーとサービスのイノベーションでお客様とともに実現します。

詳しい情報は、こちらをご覧ください。 <http://jp.ricoh.com/>